



**KEN**

青木研

**NAOKI**

鈴木直樹

# **DUO LIVE**

音楽の楽しさ・喜び・温もりをジャズに乗せて――

2019年4月13日(土)  
市川市文化会館 ローズルーム

13:30開場／14:00開演 (全席自由 2,000円)

お問い合わせ：市川市文化会館 047-379-5111  
土田（企画運営） 090-9815-6234  
深澤 090-5202-3600

## ◆ 青木 研 Ken Aoki (4弦バンジョー、ギター奏者)

1978年千葉県生まれ。

幼少の頃より、二村定一などの唄う「ジャズ小唄」(君恋し、私の青空、アラビアの唄)をはじめとする戦前音楽に親しみ、それらの曲に使われていた憧れのバンジョーを13歳で初めて手にしてから、ディキシーランドジャズで使われる4本弦のバンジョー(テナーバンジョー、プレクトラムバンジョー)をほぼ独学でマスターする。

千葉県柏の東葛飾高校在学中より都内ライブハウスやホテルパーティなどで演奏活動をスタート。都内ライブハウス、イベント、テーマパーク、国内外のジャズフェスティバル(神戸・新宿・横浜・岡崎・オランダ・アメリカ)、バンジョーフェスティバル、TV、ラジオ(NHK-FM、NHKみんなのうた他)等で演奏。バンジョー主体の演奏の他、数多くのディキシーランド/スイングジャズの演奏家をはじめ、ブルーグラス、ジャグバンド奏者、管弦楽団、吹奏楽団との共演、ソリスト、歌手等のサポートなど多種のステージに出演。

2010年にはアメリカ・サンノゼのバンジョー大会にヘッドライナーとして、2011年にはFIGA主催の全米バンジョーコンベンションに、2013年はハンガリーで開催されたジャズフェスティバルにソリストとして招聘されるなど、世界のバンジョー奏者から熱い視線を集め。米JAZZ BANJO MAGAZINE、ALL FLETS、蘭BN/DESTEM誌、ジャズ批評、JAZZLIFE誌等で特集記事が組まれた。

日本では数少ない、ソリストとして演奏することのできるバンジョー奏者。

超絶技巧を駆使した華麗な演奏、豊富な知識を親しみやすいトークに交えながらの楽しげなステージングは、多くの聴衆、ファンを魅了している。

## ◆ 鈴木 直樹 Naoki Suzuki (クラリネット、サックス奏者)

1969年東京都生まれ。

伯父・故・鈴木章治(クラリネット)、故・鈴木敏夫(ピアノ)、父・鈴木正男(クラリネット)がJazz Manという音楽一家に生まれる。

スwing・スタイルを得意とし、国内外のジャズフェスティバルに多数出演。

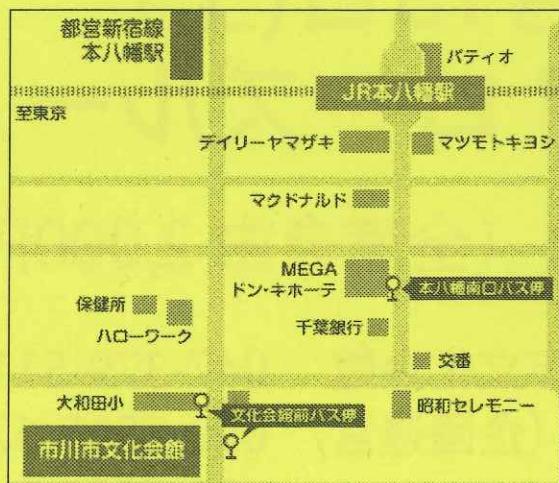
日本でも大変人気の高いピアニスト故エディー・ヒンギス氏と共に演したCD「MELODIOUS TIME」は、トライッショナルなスwing・スタイルのアルバムとして高い評価を得、ソリストとして多くのコンサートに出演。吹奏楽団、管弦楽団などとの共演も多数。また、自己のビッグ・バンドを率いて「愛・地球博」やホテルのディナーショー等にも出演。小編成から大編成まで様々なスタイルでリーダー・クラリネット、ソリストとして活動している。ピアノ/山下洋輔、クラリネット/北村英治、ヴォーカル/ペギー葉山、菅原洋一、井上芳雄の各氏等々、国内外多くのアーティストと共に演。

またジャズ奏者としての活動以外では、ソプラノ、アルト、テナー・サックスやバス・クラリネット等、マルチ・プレイヤーとして多くのミュージシャンのサポート、TV、映画、ミュージカル等での活動も多く、スタジオ・ミュージシャンとしてジャンル問わず多数の録音に携わっている。

プロデューサーとしても多くのコンサートを手懸け、2015年からは「新城ジャズ」(愛知県)の音楽監督も務める。

2010年バンジョー青木研氏とのデュオ・ユニット「NAOKI and KEN」を結成し、2013年秋に当デュオによる初アルバム「Playlet」をリリース。

2018年6月には5枚目のリーダーアルバム「Corridor」をリリースした。



市川市文化会館

千葉県市川市大和田 1-1-5

総武線本八幡駅南口より徒歩 10 分

都営新宿線本八幡駅 A3 出口より徒歩 10 分